



史蹟史料部

2024年6月12日

#55

日本人墓地公園

ニュースレター

ボランティア清掃と日本からの訪問報告

2月16日（金）、日本人学校小学部クレメンティ校3年生の皆様が、ボランティア清掃にお越しくださいました。年に一回、校外学習として日本人墓地公園をきれいにお掃除していただき、ありがとうございます。

担当の田端先生には事前のお打ち合わせ・下見から丁寧にご対応いただき、また当日は、史蹟史料部 歴史友の会と歴史研究班で2年間活動いただいた外川先生が生徒の皆様にお掃除の仕方をご説明くださいました。





この日は朝に雨が降っていたため、芝にたくさんの葉が落ちていまして、またヤシの木の大きな葉っぱもたくさん落ちていたのを、生徒のみなさんが拾い集めてくださいました。ありがとうございます。



この清掃活動の前に、クレメンティ校の保護者の方々に、日本人墓地公園を訪れてくださったグループがいらっしゃいました。

お子様たちの校外活動を通じて、保護者の皆様にも、シンガポールに日本人の墓地があることを知っていただけることが大変有難いです。

3月14日の慰霊祭にも、数名の保護者の方にご参列いただきました。

また学校のボランティアグループの保護者の皆様からは毎年ご寄付をいただいております、長年にわたるご協力に感謝申し上げます。

3月20日(水)には、日本から東京経済大学 小林ゼミの皆様が、2023年度海外ゼミ研修「多民族社会シンガポールにおける観光のフィールドワーク」の一部として、日本人会館と日本人墓地公園をご訪問くださいました。

まず日本人会館にご到着された皆様に、史蹟史料部で館内をご案内しました。日本語で受診が可能なクリニック、日本語の本の貸し出しを行う図書館、日本食レストラン、日本語で受講できるカルチャー講座、海外で暮らす日本人が集う同好会など、日本人会とはどのような組織であるか、ご紹介させていただきました。

レストラン「どんぐり」でお弁当をお召し上がりいただいた時には、数日ぶりの日本食を大変喜ばれていらっしゃいました。海外で初めての食事にチャレンジするのは旅行の楽しみですが、やはり食べ慣れた日本食にホッとしますよね。



学生の皆様とは、シンガポールではどのように多民族が共生しているのか、それを実現する政府の政策や、人々の暮らしなどをお話させていただきました。

墓地公園では、墓碑のご紹介に交えて、日本から東南アジアへの経済進出のさきがけであった「からゆきさん」のお話、日本の占領時代を経て、日本人社会を受け入れてくださっているシンガポールの現在などをお話しました。ゼミ研修の貴重なお時間の中で、観光地から離れた墓地に足を運んでくださり、ありがとうございました。

小林ゼミの海外研修の詳しい様子はこちら⇒ [「多民族社会シンガポールにおける観光のフィールドワーク」](#)

